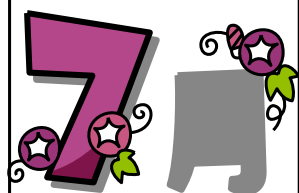


川崎市立旭町小学校 学校だより

あさひこ

令和8（2026）年6月26日



学校目標

あ 明るく元気な子
さ 最後までがんばる子
ひ 人のためにつくす子
こ 心やさしい子

「悪質なネット社会から子どもたちを守るために」

校長 荒金 庸子

梅雨の合間をぬって時折見せる太陽から、いよいよ夏を感じる季節となりました。中庭で育てている1年生の朝顔や2年生の野菜は、どんどん莖やつるを伸ばし、支柱を超えるものも出始めました。「こんなに伸びたよ!」「ピーマンが大きくなって!」毎朝水やりをしながら元気な声をかけ合う子どもたちの様子は、とても微笑ましいものです。自分だけの植物を大切に育てる経験を通して、自然を愛する心や生命を尊重する優しさを育ててほしいと願っています。

一方で、子どもたちの身の回りでは、SNS等によるトラブルが心配されています。中には「子どもの悪ふざけ」では済まされない、相手の尊厳を深く傷つけるような事例も耳にすることがあります。最近の情報では、以下のようなケースが問題となっています。

1つ目は「メッセージアプリの不適切利用」です。深夜や早朝を問わずメッセージのやり取りをしたり、言葉の使い方を知らずに誹謗中傷になりかねない文章を送信したりする行為です。

2つ目は「年齢制限のある動画アプリの利用」です。規約で13歳未満の利用が禁止されているYouTubeやTikTokを気軽に活用し、相手の許可なく顔や周りの景色がはっきりとわかる動画を不用意に発信してしまう行為です。

3つ目は「著作権・肖像権の侵害やなりすまし」です。友達の顔写真を無断で加工して投稿したり、誰かになりすまして発信する等の行為です。

これらはすべて、自分や友人を危険にさらす行為です。ネット上に一度流出した画像や書き込みは、完全に消去することが不可能と言われています。一時の好奇心や遊び半分で行ったことが、一生消えない「デジタルタトゥー」となり、将来の進学や就職、結婚等、子どもたちの人生そのものを縛り続ける危険性があります。そして、ネットの世界では子どもの未熟さに付け込む罠が多く潜んでいることも事実です。そんな危険から子どもたちを守るために、学校でも情報モラル教育を継続してまいります。ネット利用の基本は「家庭でのルールづくり」だと思います。夏休みを前に、ぜひご家庭でも「ネット利用のルール」について話し合い、毅然としたご指導をお願いいたします。子どもたちの安全と健やかな成長のため、引き続きご協力をお願い申し上げます。

7月1日は川崎市の市制記念日

7月1日は、川崎市制記念日です。川崎市が誕生したのは1924年(大正13年)で、旭町小学校の1歳年上、102周年を迎えます。赤・緑・青色で描かれた「川」の字のロゴマーク、「光の三原色をイメージしたロゴマークは、どんな『色』にもなれる多様性や自由を表し、市民一人一人の思いが多彩な『色』となり、川崎の新しい未来への可能性を広げていく」という意味が込められているとのこと。

子どもたちには、一人一人に違いがあってよいこと、好きなものが違ってよいこと、それぞれのよさがあることを知ってほしいと思います。

そして、その多様性を大切にし、ふるさと川崎に誇りをもって日々の生活を送ってほしいと願っています。

